

# 芦屋動物愛護だより

2005年(平成17年)秋号



芦屋動物愛護協会

Ashiya Society for the Prevention of Cruelty to Animals  
事務局 芦屋市役所経済課内 (電話0797-38-2033)  
<http://www.kcc.zaq.ne.jp/aspca/> [ashiya\\_animal@hotmail.com](mailto:ashiya_animal@hotmail.com)

## これからの行事予定

- 9月21日(水) 10:30~12:00 動物慰霊祭(芦屋市霊園 動物塚前)  
10:00~16:00 ペットメモリアル写真展(芦屋市霊園 動物塚前)
- 9月22日(木)~30日(金) " (芦屋市役所 南館B1玄関ロビー)
- 10月6日(木) 13:00~15:00 アジリティー1日体験教室(芦屋公園)※
- 10月9日(日) あしや秋祭りバザー出店(精道小校庭)
- 10月下旬 13:00~15:00 犬のしつけ方1日教室(場所は浜方面で検討中)

前日までの準備作業・当日の会場設営・受付など、スタッフとして参加出来る方は事務局までお申し出下さい。猫の手も借りたいので、新入会員さんも随時大歓迎です!

※アジリティーとは、犬が決められたコース(ハードル・坂道・トンネルなどの障害物有り)を走って速さを競う競技で、飼い主とのコンビネーションが必要とされるゲームです。今回は、その要素を取り入れた初心者向けの体験教室(しつけ方教室番外編)です。



## 動物愛護管理法(動物の愛護と管理に関する法律)の改正された点について知っておきましょう!

ペットショップなど動物を扱う業者を登録制とし、悪質な業者に対して業務停止命令を出せるようにした改正動物愛護管理法が、6月の参院本会議で可決・成立しました。公布から1年以内に施行される見通しです。改正された主な点は、次のとおりです。

- ★動物取り扱い業者を届け出制から登録制に変更。  
施設や飼育方法が環境省の定めた基準を満たさない場合、都道府県知事が登録取り消しや登録拒否をするとしました。  
店には動物取扱責任者を配置し、責任者には研修会への出席を義務付けました。  
インターネット販売や乗馬施設などの触れ合い施設も規制の対象となります。
- ★人に危害を及ぼす恐れのある動物の飼育について、自治体による規制から全国一律の許可制に変更。  
個体識別装置(マイクロチップ)の取り付けを義務付けました。
- ★実験動物について  
(1)苦痛の軽減(2)使用数削減(3)動物を使わない代替法への切り替え  
この3原則の理念が盛り込まれています。
- ★罰則  
・餌や水を与えないなどの虐待行為 30万円の罰金→50万円の罰金に  
・動物遺棄 30万円の罰金→50万円の罰金に  
・特定動物を無許可で飼養し保管した者は、6ヶ月以下の懲役又は50万円以下の罰金です。

ボク達の仲間が  
哀しい思いをしないで  
安心して暮らせる世界を  
早く作って欲しいな!



人々の心を散らすコース

# 芦屋川の清掃活動

(市民の方からの寄稿)



でもその反面、私達の大切な財産である緑豊かな自然が、あつという間に失われてしまうことや路上の忘れ物ウンチにも心を痛めていました。

そんな生活の中、広報あしやで知った動物愛護協会の「芦屋川清掃活動」。今年で二回目の参加となりました。

開森橋から芦屋浜へ向けて日頃の目線とは違った風景を眺めながら、時にはジャブジャブ川の中まで入った作業は、なかなか夢中になれる楽しい作業です。

この日は、犬の放置ウンチも勿論少なからずありましたが、それよりも沢山目立ったのは、おびただしい数の生活ゴミ!...この問題も何とかしなくては...!

今は年に一度のこの芦屋川清掃活動ですが、ここからふたつの提案。

- ① 季節の良い秋に是非もう一度実施して欲しい!
- ② この活動をご存じない方



が多いので、広報あしやだけでなく、地域の掲示板などにポスターを掲示するなどして、より多くの皆さんに参加してもらえようようにしていただきたいと思います。

私達の街芦屋が、人にも動物にも優しく住みやすい街になります様に!

西山町 M.K.

## まいど熟年パワー全開!

### 開催時期を春に戻して 親睦バスツアーにも行きました



恒例の親睦バスツアーが5月20日(金)実施されました。天候にも恵まれて芦屋を予定どおり9時に出発。六甲北有料道路・中国道と1時間あまり窓外の景色を楽しんでいる間に立杭の陶の郷に到着しました。

早速、部屋に入り絵付けの体験作業に取り掛かることになりました。指導員の方の説明を聞き素焼きの湯のみに思い思いの絵を描き始めました。小鳥・犬・猫・花 等々。皆さん、素晴らしい才能を発揮されていました。

中には、日頃お世話になっている奥様に感謝の気持ちを込めたプレゼントに...と一生懸命取り組まれている男性も見え、微笑ましいものを感じました。



1ヶ月後に届く完成品を楽しみにしながら、展示されている素晴らしい作品や当時をしのばせる登り窯を見学して、次の目的地、王地山公園“料亭丸山”に向かいました。美しい日本庭園を眺めながらのご馳走にほっと一息。

次は、“篠山大書院”で篠山城に関する資料や映像で往時をしのび、城下町の町並みの散策と買い物をすませて帰路につきました。

予定通り5時頃無事に芦屋に到着して楽しい1日が終わりました。

(思い出の詰まった素晴らしい作品が、約束どおり1ヵ月後市役所に届いていましたよ。まだ受け取っていない方はどうぞお早めに。)

# 芦屋浜で暮らしていた野良犬のこと

昨年の12月末頃から、中央公園〜下水処理場〜浜風町などシーサイドタウンを2頭の野良犬(白色と茶色の中型犬)が放浪していました。

2頭ともに非常に警戒心が強く、餌付けして保護しようとする人達の動きに対しても、一定距離を保ったまま。捕獲檻を使って保護しようとしたが、檻の奥に置いたエサには用心深く、ボランティアさん達との根気と知恵比べのような状態が、何ヶ月間も続いていました。

やがて、茶色の犬はどこかへ移動して行ったのか全く姿を見せなくなってしまったのですが、7月中旬のこと、白い犬♀が潮見中学校の敷地内に住み着いていることが発覚し、生徒達の安全確保のため学校側から捕獲依頼が出されました。

白い犬が捕獲された翌日、巣になっていた穴の奥深くを調べてみたところ、とり残されていた仔犬が発見され、2匹を無事に救出することが出来たそうです。



(保護された直後、学校の敷地内で撮影)

生後1ヶ月半位の茶色と薄茶の仔犬♂で、よく太って健康状態は良好。大阪府豊能郡の保護施設(ARK)へと運ばれて行きました。そこには、偶然にも潮見中の卒業生がスタッフとして働いておられたそうです。

一方捕獲された白い母犬の方は、その後一週間ほど後のこと元の飼い主さん(迷い込んで来たその犬を自宅で保護していた保護主さん)が判明し、無事に家に戻ることが出来たとか。殺処分にならずに済んで本当に良かったですね。



## 好評なんだワン! 犬のしつけ方1日教室

昨年6月より始めました「犬のしつけ方教室」も早いもので2度目の夏を迎えました。ようやく毎月恒例の教室として芦屋で定着してきたのではないかと実感しています。

本当にたくさんの方に参加していただきましたが、中には繰り返し受講して下さる方もおられて嬉しい限りです。初めは飼い主さんとの息があっていなかったわんちゃん達のめざましい成長ぶりをみると私達スタッフもわが事のように嬉しくなるものです。

レッスンは、まず何よりも飼い主と犬の間に信頼関係を築くという事から始まります。名前を呼ぶ、視線を合わせる、体に触れる。普段何気なくしていることですが、そこにしつけの第一歩が隠れているのです。しつけは飼い主と犬の二人三脚。信頼関係がなければ、ちぐはぐなものになってしまいます。誰だって信頼していない人のいうことなんて聞きませんものね。

仔犬がARKに行くまでの3日間は、学校内で先生方が交代でこの仔犬たちの世話をされていたと聞きました。「うちで飼ってあげようと思って親に頼んだけど、どうしてもダメだったんだ」と言って、泣きながら帰って行った生徒の姿も見られたそうです。



(里親さん宅にて)

当協会では、出来ることならば芦屋近辺の方に里親になって頂きたいと思い、今回は動物掲示板だけでなく、市の広報掲示板にもポスター掲示をして広くお知らせすることにしました。

お陰様で、早速数人の方々から問い合わせがあり、里親譲渡が決まりました。2匹の仔犬達は、今は里親さんの元へ運ばれご家族の皆さんの愛情をたっぷり受けながら、新しい生活を始めています。彼等には、自分達の親犬のように身勝手な飼い主に捨てられたりすることなく、生涯を人間の優しさに包まれて幸せに暮らして欲しいと切に願います。

今回の野良犬捕獲と保護に関しては、考えさせられる点・反省すべき点などが数多くあり、動物愛護活動をする上で大変勉強になりました。この手の活動をするには個人レベルではどうしても限界があって、思うようにならない点が多々あります。

捕獲された野良犬の行き着く先である殺処分について、また保護したいと考える場合に係ってくる責任と将来の展望、経済力、必要とされる情熱と行動力…その他じっくりと考えなければならぬ難しい問題点が沢山ありました。

しっかりと情報網を作れていなかったのが原因なのですが、予想外だった最後の展開には驚きと混乱がありました。

でも、結局のところは…一応ハッピーエンドとなったわけですし幸運な結末だったと言ってもよいのかもしれませんが。

でも、茶色い方の犬は、どこへ行ってしまったのでしょうかね？

## 平成17年度の総会が開かれました!

平成17年度の総会が、6月6日芦屋市役所の会議室で開かれ、山中健市長をはじめ新入会員を含む約30人が出席。本年度の事業計画、会計予算等が原案どおり承認されました。協会の事業と運営をより活性化させるため、幹事会などの準備連絡等に力を入れるほか、犬のしつけ方教室などの講習会を、今年も引き続き兵庫県動物愛護推進員と共催して開くことなどが決まりました。会計報告や事業計画(これからの予定)については、別頁をご参照下さい。



# 天国へと旅立ったペット達の思い出を 写真やメッセージで募集しています！

～ペット・メモリアル写真展のお知らせ～

市民の皆さんに飼われていた、多くのペット動物が眠っている芦屋市霊園内の動物塚。昭和43年の建立以来、当協会では、毎年9月に動物慰霊祭を行ってまいりました。今年新しい企画として、亡きペットとの思い出の写真やメッセージを市民の皆様よりお寄せ頂き、芦屋市役所ロビーと芦屋市霊園で展示することにしました。家族の一員として共に暮らした、ワンちゃんや猫ちゃんとの楽しかった思い出の数々をどうぞお寄せ下さい。



【展示場所と展示期間】 芦屋市役所南館 B1 玄関ロビー 9月22日(木)～30日(金) 9時～17時  
芦屋市霊園(朝日ヶ丘町) 動物塚前 9月21日(水) 10時～15時  
【募集期間】 9月1日(木)～15日(木)

### 【募集要項】

- ◆ A4サイズの用紙(白色・縦横自由)にあなたが亡くしたペットの写真と、そのペットに向けた簡単なメッセージをレイアウトして、郵送もしくは経済課窓口までご持参下さい(A4サイズの用紙内であれば、写真のサイズや全体のデザインについては自由です)
- ◆ 写真やメッセージとともに、ペットの種類と名前・年齢・死亡年月日(分かる範囲で)を記入して下さい。
- ◆ 手書きのものでもパソコンで印刷出力したのもでも、どちらでも可。(必ず完成した状態のものをお送り下さい。データや添付ファイルでは受け付けません)
- ◆ 1枚の用紙に複数のペットを一緒に入れても、1枚につき1頭でもどちらでも結構です。

- ◆ 写真でなく絵やイラストでも、或いは文字メッセージだけでも構いません。
- ◆ 原稿の返却は出来ませんので、貴重な写真の場合はカラーコピーしたものをご使用下さい。
- ◆ あなたの住所・氏名・電話番号を、必ず別の紙に記入して同封して下さい。

昭和43年(1968年)以降、死骸引取りを芦屋市役所に依頼された方のペット動物の遺骨は、芦屋市霊園動物塚に納められています。年に1度の動物慰霊祭にも、どうぞお誘い合わせのうえご出席下さいますようお願い致します。

## ペットだ～いすき!

(投稿コーナー)

こんにちは! 僕ビリーブです。  
 ウチではびーちゃんって呼ばれてます。  
 僕はお散歩が一番好きなんだ。  
 毎朝お父さんが連れてってくれるんだ。  
 朝、お父さんが寝坊したら、僕が「くーん」ってお父さんを起こすんだよ。  
 それにね、お姉ちゃんがお休みの日は格別。スペシャルなお散歩に行けるんだ。  
 お兄ちゃん(お姉ちゃんのダンナ様だよ)がね、車に乗せてくれて六甲山に行って広い所でたくさん遊ばせてくれるんだ。  
 それに、天橋立にも連れてってくれる。お泊り付の旅行だよ。  
 天橋立をずーっと歩いて渡ったり、船にも乗ったりして楽しいんだ。  
 でも旅館ではいい子にしてなきゃいけない。でも平気だよ。  
 だって僕は、しつけ方教室のモデル犬もしてるんだもん。  
 旅行はすごく楽しいけど、夜になったら、お母さんの事思い出して、ちょっと淋しくなるんだ。  
 帰ったらたくさん報告しよって、思いながらお姉ちゃんに寄り添って寝ちゃう。今度は家族みんなで行きたいな。  
 お散歩の時とかしつけ教室で僕の事見つけたら、是非「びーちゃん」って声かけてね。

川西町 M.O.



シェットランド・シープドッグ 5歳

  
Ciel Animal Hospital

シエル動物病院

芦屋市岩園町25-2  
0797-35-5751

受付	月	火	水	木	金	土	日祝
AM 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	※
PM 1:00~4:00	△	△	△	△	△	※	※
PM 5:00~7:00	○	○	○	○	○	※	※

△予約診療・手術・往診 ※予約診療